

世界を楽しもう！ 世界文化体験キャンプ ～長野県の国際交流イベントから～

長野県観光部国際課国際交流員 金 奉姫

長野県には4人の国際交流員（CIR）がいます。この4人で春には長野マラソンの国際交流フェスティバルにおいてブースを担当し、冬にはJR長野駅前クリスマスキャロルを歌うなど、年に数回イベントを開催してきました。さらに2010年からは長野県内の市町に任用されているCIR4人にも協力してもらい、「世界文化体験キャンプ」を始めました。

今回は、2011年6月に実施したこの小中学生を対象としたキャンプについてご紹介します。このキャンプは、子どもたちが外国人であるCIRと触れ合い、CIRの出身国の文化、ゲーム、クラフト、料理などを通して参加者の視野を広げ、国際理解を深めることを目的としています。県内CIR8人が協力して実施するイベントとしては2回目になります。

1 募集人員

募集人員は県内在住の小学校5年生～中学校3年生の25人としました。2010年は初めての開催だったので15人でしたが、2回目の2011年は少し増やすことにしました。ただし、子どもたちとたくさんお話しできることが大事だと判断し、人数はあまり多すぎないように決めました。募集方法は県内のALTが学校で周知するほか、新聞、各市町の広報誌などを利用しました。

前年の参加者の半分以上がリピーターで申し込んだこともあり、募集人員をオーバーしてしまい、断らなければならないほどでした。

2 プログラム

外国人とのキャンプと言えば英語の力をつけるためのイングリッシュキャンプが多いと思います

が、アジア圏の私（韓国）と中国の交流員もいるので、語学だけではなく世界のさまざまな文化を中心としたプログラムに力を入れました。

<1日目>

最初に、初対面の緊張をほぐすため、各国のゲームを行いました。2人がペアになって1人が目隠しをし、目的地まで風船を運ぶアリになる中国のゲーム、円盤を投げてキャッチするアメリカのフリスビーなど、ゲームをしているうちに仲良くなりました。

次に文化プログラムとして「テコンドー」を体験しました。テコンドーは韓国の伝統武術で、日本の空手のようなものです。2000年シドニーオリ



～テコンドー体験～
ハンドミットを蹴っています。

ンピックの正式種目としても認定されています。韓国では、子どもたちが健康になり、礼儀も正しくなるようにテコンドー道場に行く子がたく

さんいます。そこで今回は、東京韓国文化院から先生を招き、参加者全員がテコンドー服を着て、本格的に学びました。

みんな初めての体験でしたが、ハンドミットを蹴ったり、板を割ったりと積極的に取り組んでいました。うれしいことに、一番好評だったプログラムでした。

クラフトプログラムでは、オーストラリアの「ブーメラン」を作ってみました。ブーメランはオーストラリアの原住民が狩りをするために作ったもので、そこに描かれているいろいろな模様

は、それぞれ意味があり、模様をつなげるとストーリーになります。みんな自分が選んだ模様を描き、楽しく想像力を広げました。



～ブーメラン作り～
ブーメランに絵を描いています。絵にはいろいろな意味があるそうです。

夕食はグループを分け、オーストラリアの「シェパードのパイ」、中国の「ひまわり種の炒め」など、7つの国の料理を作りました。めったに食べることができない料理



～夕食作り～
世界の料理をグループに分かれて作りました。私たちは、韓国家庭料理の「豆腐ジョン」です。

を作ったところでは、私は韓国家庭料理の「豆腐ジョン」という豆腐を使ったチヂミのようなものを作りました。

夜のハイライトはやはりキャンプファイアです。たき火の前で欧米のキャンプファイア定番のおやつ「サモア」を作りました。木の枝にマシュマロを刺し、火の中に入れて溶かした後、クラッカーとチョコを挟んで食べました。疲れが取れそうな甘いおやつを食べながら、1日目のプログラムは終わりました。

<2日目>

メインプログラムは「宝探し」です。今回利用したキャンプ場には遊具があり、そこに「物」や「質問」を10個隠しておき、子どもたちはグループごとに「宝」を探します。例えば、各国のお金を日本円にするといくらになるかを予想してみたり、これはどの国のものか、何に使うものかを考えたりして、事前に渡した紙に答えを書きます。みんな見たことのないものや考えたこともない質問に戸惑いながらも、探す楽しさと考える楽しさでわいわいと楽しそうでした。

お昼は、チーズトーストとトマトスープのアメリカ風ランチを食べて、キャンプのプログラムは

無事終了しました。

3 今後は

学校での勉強と違い、世界各国が身近に感じられる世界文化体験キャンプ。参加者からは大好評で、参加年齢が中学生までなのですが、中学3年生の参加者からは高校生も参加できるようにして欲しいと要望があるほどでした。



～記念写真～
みんなでピ～ス!

次回は、どのようなイベントにするか現在計画中ですが、さまざまなプログラムを取り入れ、楽しいイベントにしたいと思います。

【参考】アンケート結果

(複数回答可・上位3位を掲載・参加者25人から回答)

1 全体的な評価

- | | |
|----------|-----|
| ①とてもよかった | 21人 |
| ②よかった | 4人 |

2 今回のキャンプに参加した理由は何ですか？

- | | |
|--------------------|-----|
| ①世界の文化をもっと知りたかったから | 14人 |
| ②外国人と話したかったから | 10人 |
| ③キャンプが好きだから | 10人 |

3 一番楽しかったプログラムは何ですか？

- | | |
|----------------|----|
| ①テコンドー | 6人 |
| ②キャンプファイア | 5人 |
| ③世界のおいしい料理を作ろう | 5人 |
| ④全部 | 5人 |

4 感想 (主な意見)

- どのプログラムもすごく楽しくて2日間があったという間だった。
- 英語があまり話せないのが不安だったが、皆フレンドリーだったのでよかった。
友達もたくさんでき、いい思い出になった。
- いろいろな国の文化を知ることができ、勉強になった。また来たい。
- 来年も来ていっぱい外国の人としゃべりたい。